

# CYRANO DE BERGERAC

『シラノ・ド・ベルジュラック』1990 フランス・2時間19分

監督：Jean-Paul Rappeneau ジャン＝ポール・ラブノー

原作：Edmond Rostand エドモン・ロスタン

## Personnages 配役

### Gérard Depardieu (Cyrano)



ジェラルール・ドゥパルデュー  
(シラノ：剣豪、詩人、小説家、劇作家、哲学者、科学者。従姉妹のロクサーヌを密かに愛するが、自分の大きな鼻にコンプレックスをもつあまり、告白できない。)

### Anne Brochet (Roxane)



アンヌ・ブロシェ  
(ロクサーヌ：シラノの従姉妹。文学サロンに出入りする教養ある女性。シラノの愛に気づかず、クリスチャンに恋する)

### Vincent Pérez (Christian)



ヴァンサン・ペレーズ  
(クリスチャン：シラノの連隊に新たに入った兵士。勇気の点では人後に落ちないが、文才の無さを恥じて、愛するロクサーヌに直接愛を告白できない。)

## 概説

フランス17世紀に実在した人物シラノ(Savinien de Cyrano de Bergerac 1619-1655)がモデル。作中では、シラノは従妹のロクサーヌを愛していたが、自分の鼻の大きさにコンプレックスを持つあまりそれを告白できず、反対に彼女から美貌のクリスチャンを愛していることを告げられる。一方クリスチャンは自分の文才のなさを恥じて恋文すら書くことができない。そこで、シラノはクリスチャンの恋文を代わりに書くことで、人知れず自らの気持ちを綴る。書き手がシラノであることを知らぬロクサーヌは、その恋文の素晴らしさにクリスチャンを深く愛するようになる.....

愛する気持ちを言葉で、しかもレトリカルに表現しなければ相手にされなかった文化の伝統（これは現代のフランスにも通じる）を称揚しつつも、人物の取違いをコミカルに描きながら、真実を見出せない者たちの悲劇を皮肉にも一層きわだたせた秀作。ロスタン(1868-1918)の原作テキストは1行12音節の韻を踏んだ詩で書かれており、映画のシナリオも大半は原典韻文テキストを尊重している。